

由岐小だより

校訓「たくましく ゆたかに」

うばめがし



令和7年3月1日（第11号）

菜の花が咲きはじめ、春の息吹を感じる頃となりました。卒業を控えた6年生は、5年生とともに毎朝体育館の床を磨いてくれています。心が洗われる時間です。

5・6年生は、避難経路や校舎内外の清掃活動が評価され、海部郡校外補導協議会から「善行賞」を受賞しました。また、5・6年生の教室壁面には、一人一人の「ハッピー行動計画」が掲示されています。そのなかの「あいさつ」に関する行動計画に「進んで」「何回も」「家族にも」等その子なりの言葉があり、自分の思いをもって実行しようとしているのだと伝わってきました。このように、高学年は「自分のことは自分で決める」を大切にして積極的に行動し、自主性が育ってきています。6年生は、登校する日数が10日あまりになってしまいましたが「有終の美」を飾ってほしいと思います。また、1年～5年生は、6年生からよい伝統を引き継ぎ、笑顔で進級できるように、全教職員で応援していきます。



「明けの春姫」収穫・加工・販売

[由岐小ホームページ⇒](#)

2月7日（金）、5年生がわかめの収穫をしました。12月に種付け・沖出しをしたわかめです。収穫したわかめは、由岐漁協において食べられる部分をはさみでカットしました。そして、学校に着いてからは6年生と一緒に①洗う②選別する③包丁でカットする④重さを測って袋詰めする。という流れで加工しました。できあがったブランドわかめ「明けの春姫」は、保護者の方や教職員に販売し、「コリコリしてやわらかい。」「わかめのしゃぶしゃぶ最高！」など喜ばれました。子どもたちにとって、地元の産業を体験し、由岐のよさを知る良い機会になりました。加工や販売活動は、総合的な学習の時間の単元学習として2019年より取り組んでおります。美波町役場産業振興課の濱宮さんはじめ「由岐の海の恵み研究会」の皆様には、大変お世話になりました。学習活動の様子は、四国放送や徳島新聞でも取り上げられました。



「徳島県まなぼうさい活動賞」受賞

避難訓練や防災デイキャンプなど、これまでの防災活動の取組が評価され、「徳島県まなぼうさい活動賞」をいただきました。これから地域の方々と連携しながら防災教育を推進していきます。

県防災センターにて



子どもたちの様子



体験入学（1年）



高齢者施設「ねんりん」訪問（3・4年）

第3回伊座利小学校との交流

2月17日（月）伊座利小の子どもたちが、由岐小学校に来てくださいました。全員でドッジボールをしたり、各学級に分かれて道徳（人権）の勉強をしたりするなど、いい交流会になりました。左の写真は5・6年人権学習「権利の熱気球」の授業の様子です。自分の考えを自信をもって伝えたり、活発に意見交換したりできていました。



●卒業にあたって

- 泉 明希穂…あと少しだけ、全力で楽しい思い出をつくりたいです。由岐小学校での思い出を忘れたくないです。
- 尾崎瑚々呂…しなければならぬことを終わらせて、気持ちに余裕をもって卒業したいです。
- 坂本 響斗…6年間、おこられたり、ほめられたりして思い出のある由岐小学校だから、卒業が近づいて悲しくなってきました。
- 浜田 瑞生…もうすぐ中学生なので、健康管理や交通安全に気をつけて積極的に頑張りたいです。
- 古川 璃紗…1～5年が笑顔で楽しく遊んでくれたことに6年生の私は支えられました。感謝の気持ちを伝えたいです。
- 山本 龍…人の意見に何でも賛成してしまう事があるので、自分から意見を言うようにして、人の意見にも賛成したり、反対したりしたいです。



1・2年発表「早口ことば」



児童会引き継ぎ



3～5年点字出前授業